

はまY U



南紀白浜メッセージ花火

Vol.
9
2008.夏号

小児科外来

診療日／月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

ふるくぼ かずひろ
担当：古久保 和洋 医長

産婦人科外来

診療日／月曜日 午前
火～木曜日 午前・午後
金曜日 午後

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

くにべ ひさや
担当：國部 久也 部長



案内・介助ボランティア募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

(財)日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般・療養) Ver.5.0



CONTENTS

2008年度事業計画…………… 2～3

小児科より 夏かぜ対策…………… 4

循環器検査の進歩
最新の心エコー装置導入…………… 5

新採用医師のご紹介…………… 6

白浜はまゆう病院 外来のご紹介…………… 7

西富田クリニック開所10周年…………… 8

管理栄養士おすすめの
レシピです…………… 9

患者様のご意見への回答…………… 10～11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

理念

基本方針

私たちは、地域に根ざした医療機関として、最高の誠実さと最大限の努力で、親切で質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを行います。

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の状態のいかにかわらず、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にしたい医療とケアを提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様との協働作業として、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

あみだい
んれつ
しなで
んがもも



2008年度の主な事業計画

本年4月に、診療報酬改定が実施され、新しく「後期高齢者医療制度」及び「特定健康診査・特定保健指導」が施行されます。

診療報酬の改定は、診療報酬全体が0.38%のプラス改定になったとはいえ、薬価等の引き下げにより全体では、0.82%のマイナス改定であり、深刻化していく病院医療の崩壊を食い止めるとは言い難い内容です。

開院15周年を迎える本年度は、引き続き、医師及び看護・診療技術部門の体制を強化することに取り組まなければなりません。

療養病床の再編成対策は、最重点課題として位置付け、地域ニーズに基づき、病床利用形態の各選択肢についてのシミュレーションを行い、関係機関等の協議を経て、転換方針を定めていきます。

また、関連診療所との電子カルテシステム・遠隔画像診断システムのネットワークを有効に活用して、医療サービスの質の向上、安全な医療提供などの諸課題を積極的に推進していきます。

少子・超高齢化した地域で求められる医療・ケアを提供するため、本院が有する診療機能を一体的に活用するとともに、財団関係施設及び他医療機関・介護施設等と提携しながら、地域医療の推進に努めます。

1 公益事業

(1) 財政基盤・組織体制の強化に努めます。

運用財産を拡充し、自己資本比率の向上に努めます。

(2) 「理念」「基本方針」「患者・利用者の皆様の権利と義務について」の推進に努め、年度末に見直し検討を行います。

(3) 新公益法人への移行に必要な諸準備を整えて行きます。

(4) 院内研究発表大会を開催し、医療・ケア・サービスの向上に努めます。

(5) 「健康教室」を定期開催し、地域住民の健康意識の向上に努めます。

(6) 「年報」「院内外情報誌」を定期発行し、財団の情報を発信します。

2 白浜はまゆう病院

- (1) 診療技術部に「心理相談室」を設置します。
- (2) 療養病床の転換は、地域の医療・介護ニーズ、医療提供体制を踏まえ、地域の医療資源として、有効に活用できるよう調査検討し、転換方針を定めます。
- (3) 消化器疾患、関節疾患、リハビリテーション等に、より専門的に対応できるよう診療・検査体制の充実に努めます。
- (4) 医師派遣を受けている大学医局との関係を維持するとともに、医師求人情報の発信等あらゆる方法を駆使して医師の採用に努めます。
- (5) 看護師確保の困難な状況が続いており、看護師確保対策委員会を継続して募集の取り組みを強化します。
- (6) 医療相談室・地域医療連携室を窓口にして、医療・保健機関、福祉施設、介護保険施設等との連携関係を構築します。
- (7) 安全で危機に強い病院づくりを進めます。
- (8) 開院15周年を記念して医療講演会等を計画して、病院事業の発展に向けてのステップにします。
- (9) 経費の節減、コストパフォーマンスを徹底し、健全経営の維持に努めます。

3 西富田クリニック

- (1) 万全な医療を提供し、安心してかかる、心やさしいクリニックづくりを進めます。
- (2) 白浜はまゆう病院との連携により、地域における外来診療機能の充実に努めます。
- (3) 整形外科常勤医師の着任により、診療日時を拡大し診療機能の充実に努めます。
- (4) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんぼぼと連携し、「在宅療養支援診療所」の体制を充実し、在宅医療の提供に努めます。
- (5) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、財団施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。

4 鮎川診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりを進めます。
- (2) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (3) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、財団施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。
- (4) 4月より週2〜3回、整形外科診療を開始して診療の充実に努めます。

5 日置診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりを進めます。
- (2) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (3) 遠隔画像診断システムを有効に活用するとともに、導入が計画されている電子カルテ化に対応します。

6 川添診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりを進めます。
- (2) 白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、地域住民が安心できる診療所運営に努めるとともに、遠隔画像診断システムの活用並びに電子カルテ化に対応します。
- (3) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校と連携し、医療面での支援・協力を努めます。

7 訪問看護ステーションたんぼぼ

- (1) 積極的な訪問活動を推進します。
- (2) 他の事業者とのチームワークを大切にして、サービスの円滑な提供に努めます。
- (3) より質の高い看護・リハビリの提供に努めます。

8 在宅介護支援センター

- (1) 行政機関・サービス提供事業所と連携し、利用者にふさわしいケアプラン等を提供します。
- (2) 適切な介護予防サービスを受けられるよう支援し、介護予防サービス計画を提供します。
- (3) 職員の認知症に対する知識を高め、白浜町と協力して「認知症予防教室」を開催します。

小児科外来より

～夏かぜ対策、普段からの水分補給を習慣づけましょう～

こんにちは 小児科 古久保です

そろそろ夏休みの季節になってきました。

夏にはいわゆる夏かぜがはやることが多く、一般的に、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、手足口病、の3つを夏かぜと言います。

咽頭結膜熱はプールを介してはやることが多く、プール熱ともいい、アデノウイルスというウイルスの感染が原因です。

のどを綿棒でこすって検査します。38～39℃の比較的高い熱が4～5日続き、のどの痛み、結膜炎がみられるのが特徴です。

のどの痛みが強いことが多いため、水分補給はこまめに十分行ってください。

ヘルパンギーナ、手足口病はエンテロウイルスやコクサッキーウイルスといった多種類のウイルス感染が原因です。どちらも多数の口内炎ができ、発熱すること多いため、こちらも水分補給が重要になります。

食べられれば何を食べてもいいですが、オレンジジュースなど酸味の強い果汁や塩分の多いスープなどはしみて痛いので、プリンやアイスクリームなど、のどこしの良いものを与えましょう。それでも全く口にしないようであれば、病院で点滴による水分補給が必要になることもあります。

合併症として腸炎、気管支炎、また重篤なものとして髄膜炎や脳炎になることもありますので、しんどそうにしていれば遠慮なく相談してください。

暑ければ発汗も多く、発熱によっても失われる水分は多くなりますので、普段からの水分補給の習慣づけも重要でしょう。



小児科医長
古久保 和洋

小児科外来

診療日 / 月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前

受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時

ふるく ぼ かすひろ
担当 : 古久保 和洋 医長



今年の夏もアロハ・ビズ!!



1994年の開院当初から夏季に着用しているアロハシャツ。

今年もその季節がやってきました。今年は看護部のユニフォームも変更しましたので、合わせてご紹介します。

ここで、アロハよもやまばなしをひとつ。
～実は日本が発祥?!～

ハワイの正装とも言われるアロハシャツ、

その起源は戦前にハワイに移住した日本人が、着物をリメイクしてハワイの気候に合わせて作ったのが発祥と言われています。だから、本場ハワイの“ヴィンテージもの”と言われるものは、友禅柄や浮世絵柄など、昔の日本を思わせるものが多いのだとか。

みなさまもハワイに行かれた際には、是非1着ご購入してみたいはいかがですか？



事務員



新しくなった看護補助者の
ユニフォーム「すっきり、さわやか」

最新情報

The Latest News

循環器検査の進歩 ～最新の心臓超音波診断装置を導入～

近年の臨床検査の進歩には目ざましいものがあります。循環器領域において最も進歩した臨床検査の1つが心臓超音波検査(心エコー検査)です。心エコー検査の主な役割は、心臓の大きさや形態、心臓肥大の有無、収縮機能(動き・働き)、弁機能(弁膜症の診断)などを、患者さんに身体的な負担をかけずに短時間で行うことです。しかも、X線や造影剤を使用しないため手軽に繰り返し行うことができるのが大きな特徴です。

心エコー検査の対象となるのは、高血圧、心肥大、不整脈、心不全、弁膜症、心筋症、狭心症などの循環器疾患だけでなく、糖尿病や高脂血症、腎臓病などにおける心臓への影響を初期の段階から観察することも重要です。また、急性心筋梗塞などの循環器救急疾患においても診断や治療処置を行う上でたいへん有用です。



副院長
伊藤 浩二

最近、心エコー検査に画期的な技術が導入されました。それが組織ドプラー法とストレインエコー法です。従来、心不全の主な要因は心臓の収縮力(心臓が全身に血液を送り出す力)の障害であると考えられてきました。ところが、実際には心不全患者の約4割は心臓の収縮力が低下していないことが明らかになり、そういった患者では心臓の拡張機能(心臓の膨らみやすさ)の障害がみとめられることがわかりました。

心臓は収縮と拡張を繰り返している臓器ですが、心不全の患者では、心臓の拡張障害が収縮力の低下よりも早期に出現し、心不全の進行とともに悪化していくといわれています。

組織ドプラー法を用いることにより、心臓の拡張障害の有無や進行度を診断することができるようになりました。また、ストレインエコー法を行うことによって、心臓の収縮と拡張が全体的に調和的・同期的に機能しているかどうかを知ることが可能となりました。



当院では本年6月末より米国GE社製心臓超音波診断装置専用最上位機種であるVivid7を導入し、組織ドプラー法やストレインエコー法を加えた心エコー検査を開始しています。

検査時間は約15分～20分程度、費用は従来の心エコー検査と同じです。

今後もこのような臨床検査を積極的に実施し、様々な循環器疾患の診療に役立てていきたいと考えています。

◀心臓超音波診断装置
GE社製 Vivid7 dimension BTO8

新採用医師のご紹介

西富田クリニック/鮎川診療所



整形外科医師
(日本整形外科学会認定専門医 身体障害者診断指定医)

しみず まさひろ
清水 昌宏 御坊市出身

プロフィール

1992年3月 慶応義塾大学医学部卒業
1992年6月 京都大学医学部付属病院 整形外科入局
1993年4月 大阪赤十字病院 整形外科勤務
2003年4月 和歌山県内病院 整形外科勤務
2008年4月 白浜医療福祉財団 整形外科勤務(西富田クリニック)

診療担当表

	西富田クリニック		鮎川診療所	
	午前	午後・夕診	午前	午後
月曜日	○	○		
火曜日		○	○	
水曜日	○			○
木曜日				
金曜日	○			○

4月より、西富田クリニックで整形外科の診療を担当しています、清水昌宏です。とは言っても、西富田クリニックでは、昨年10月より週1回診療していました。

今年度に入ってから、西富田クリニックの整形外科診療も増え、また、鮎川診療所でも週3回診察しています。

平成15年に郷里に戻るまでは、京都、大阪、滋賀などで11年間病院勤務をしておりました。この間、診断から、必要であれば手術、そしてその後のリハビリまで、整形外科ほぼ全般にわたって、診療を担当してきました。

診療所でもこの経験を生かして参りますので、お気軽に何でもご相談下さい。

皆様にとって最善の治療法を提案でき、最良の結果に到達できるよう、日々努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

白浜はまゆう病院



内科部長

いとう ようぞう
伊藤 揚荘

プロフィール

1982年3月 島根医科大学卒業
1986年4月 島根医科大学 第3内科入局
1990年4月 日赤和歌山医療センター 内科勤務
(日本内科学会認定内科医)

膠原病・糖尿病専門外来
火曜日・木曜日

受付時間 8:30～11:30
診療時間 9:00～12:00

専門領域は「膠原病・リウマチ」疾患

2008年7月より赴任いたしました伊藤揚荘と申します。平成2年から18年余り、日本赤十字社和歌山医療センター 第一内科にて「膠原病・リウマチ」を中心に診療をして参りました。

「膠原病」とは全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、多発性血管炎、シェーグレン症候群などいくつかの疾患の集まりです。

これらの疾患は免疫の異常(自己免疫)が発症に関与していること、結合組織に障害が起こるなど共通点が見られます。また、慢性疾患で長期の治療を必要とします。

膠原病というと難病のイメージがありますが、正しい知識を持ち根気良く治療を続けることで病気の悪化や進行を抑えることができます。

「関節リウマチ」は多数の関節に炎症による関節痛・腫脹が起こり、しだいに変形から機能障害を生じる病気です。

近年、抗リウマチ剤による治療進歩、中でも「生物学的製剤」といわれるバイオテクノロジーによる新薬の登場などによって活動性を抑えることが可能になり、いっそう早期の治療が重要となっています。

この度、白浜はまゆう病院にて医療に従事させていただく機会を得ることができました。

これまでの経験を膠原病・リウマチ疾患の診療に活かし、さらに一般内科医として地域医療に微力ながら貢献できればと考えています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

白浜はまゆう病院 外来のご紹介

～安全・安心・安楽な看護の提供に努めてまいります～

看護部 外来

当院外来には、診察や検査に一日平均300人の患者様がお見えになっています。

多数の方が短時間に訪れるため、速やかに患者様のニーズを見出し対応できるように心掛けています。初めて訪れる患者様が戸惑うことのないように、医療相談や受診手続き等の説明を行っています。医師の診察や検査を受けられる前に看護師が、身長・体重・血圧・体温などの測定を行い、次に今患者様が苦痛とされていること等をお尋ねして、医師の診察を待っていただきます。

一般内科・整形外科・外科などの診療科と消化器・呼吸器・アレルギー・糖尿・腎臓・循環器・神経内科・心療内科・リウマチ・関節専門外来を含め20科の診療を行っています。

2006年1月から産婦人科、2006年4月から小児科の診療が再開されました。

今日、産科医師の不足を言われていますが、産婦人科外来では、本年4月から社会保険紀南病院との連携で、出産までの妊婦検診を毎週火曜日に開始しています。また、助産師が妊婦指導を行い乳母トラブルについても対応していますのでお気軽にご相談下さい。

2007年8月から泌尿器科に柏木医長が着任し毎日診療が行われるようになりました。診療は最新の医療機器で痛みや不快感が最小限ですむように行われています。

内視鏡は、紀南地方随一の専門医、スタッフが揃っていると自負していますように、内視鏡専門医師と専属師長や内視鏡技師が検査・内視鏡によるポリープ切除・吐血や下血など緊急処置に対応しています。

苦痛とされている内視鏡検査も昨年経鼻内視鏡が導入され、口から挿入する内視鏡に比べて咽頭粘膜の刺激が少ないため、苦痛が少なく行えるようになりました。また、麻酔法に比べて検査終了後すぐに帰宅できます。

検査の間は、内視鏡技師が寄り添い不安の軽減に努め少しでも安楽に検査を受けていただけるように配慮しています。

潰瘍や悪性腫瘍などの早期発見のためにも定期的な検査をおすすめします。

外来スタッフは24名(パート含む)です。患者様の問診から診察の介助、検査の説明などに関わっています。

今まで入院して行われていた検査や治療も、外来で行えるようになりました。

患者様が安全に安心して受診・治療が受けられるように、スタッフは日々知識・技術の向上に努めています。

採血や処置などお待たせして「今日は忙しいな」など患者様からの声をお聴きすることもあります。外来における待ち時間対策は、どの医療機関においても工夫していかなければならない課題です。

当院整形外科外来では患者様が診察状況を把握することができ、自分の順番が分かりやすいように患者様に番号札をお渡しし、番号を記入したボードを掲示しています。

番号札とボードを活用したことで、「自分の順番が予測できた」とのご意見を頂いております。

今後も、待たされる患者様の苦痛を軽減し、スムーズな対応が出来るようにスタッフ一同努力していきたいと思っております。

患者様との信頼関係を築き、気軽に声を掛けて頂けるように笑顔心を心がけ、安全・安心・安楽な看護の提供に努めてまいります。

外科系外来待合室のソファー一新

この程、外科系待合室のソファーを新調いたしました。

病院カラーのブルーを基調にしたカラーコーディネートと背もたれは木製になっています。座り心地等好評であれば受付前待合室のソファーも更新する予定です。

ご意見をお聞かせください。



西富田クリニック

「皆様にご利用いただき満10年」

1998年7月に、才野区・堅田区からのご要望と白浜町のご協力を受けて白浜はまゆう病院のサテライト施設として開所して以来、地域の皆様にご利用いただき、無事順調に10年を迎えることができました。

もう一度皆様にお役にたつよう西富田クリニックをよく知っていただこうと思い、簡単に紹介させていただきます。

当クリニックでは、病院より、もっと身近で親切で小回りのきくクリニックを目指し、

- ・心やさしいクリニック
- ・安心できるクリニック
- ・万全な医療を提供するクリニック

を目標に、職員一同、明るく・楽しく・和気あいあいと日々頑張っています。

内科・整形外科・リハビリテーション科の診療体制ですが、お困りのときには、診療科にかかわらず、病診連携をふくめご相談にのれるよう対応いたします。

また、2008年4月からは常勤の整形外科医が着任し、午前の整形外科診療も開始しました。2007年10月には電子カルテの導入で白浜はまゆう病院での検査予約や診察・投薬内容の照会も簡単に行うことができ、より一層緊密な連携体制にあります。

午前・午後のシャトルバスも運行しておりますのでお気軽にご利用ください。

通院が困難な患者様へは、在宅療養支援診療所として24時間体制での往診や訪問看護も行っております。

また、終末期を迎えた患者様のサポートも行っています。

その他、介護についてお困りのことも、在宅介護支援センター・訪問看護ステーションたんぽぽと密接に連携を図っていますので、いつでもご相談ください。

今後も西富田クリニックでしかできない「きめ細かい暖かな医療」が提供できるよう、職員一人ひとり暖かな心と思いやりをもち、地域の皆様のお役にたてるよう努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

診療担当表

	月		火		水		木		金	
	午前	夕診	午前	午後	午前	夕診	午前	午後	午前	夕診
内 科	西	松尾	松尾 井神	西	西	西	木下	—	西	西
整 形 外 科	清水	清水	—	清水	清水	政田	—	—	清水	—
リハビリ テーション科	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—

受付時間 月曜日～金曜日 午前8時30分～11時30分 夕診(月・水・金曜日) 午後4時～6時30分
火曜日のみ 午後2時～4時30分 整形外科(水・金曜日) 午後5時30分～6時30分



西 所長



看護スタッフ



受付スタッフ

私たちが おすすめする カラダにいい とっておきレシピ 第1回

～夏バテと夏太りを防ぐビタミンB～

蒸し暑い夏がやってきました。

何となくだるくて食欲がない・・・だからといって、冷たいものやあっさりしたものばかり摂っていては必要な栄養が摂れず夏バテになってしまいます。

また、夏場はどうしてもアイスクリームやジュースなどで糖分や脂肪を多くとってしまいますが、糖分や脂肪の代謝に必要なビタミンB1、B2が不足すると、体にため込むことになり肥満となってしまいます。

ビタミンB1、B2を含む豚肉と食欲を増進させてくれる香味野菜・香辛料を使ったメニューを紹介します。

白浜はまゆう病院 食養科長(管理栄養士) 吉川 貴子

■ビタミンB1

働 き

炭水化物の代謝に必要。

ビタミンB1はにんにく、ニラ、ネギなどのアリシン(にんにく等に含まれる抗菌性物質の主成分)を多く含む食品といっしょに調理すると利用効率がアップする。

多く含む食品

胚芽精米、全粒パン、レバー、豚赤身肉、ウナギ、カツオ、大豆・大豆製品、枝豆、ほうれん草

■ビタミンB2

働 き

脂質、たん白質、炭水化物の代謝に必要。

多く含む食品

イワシ、カツオ、サバ、サケ、サンマ、ウナギ、カレイ、牛乳、納豆、鶏肉、豚肉、牛肉、卵

豚肉の味噌チーズ焼き

<一人分>

豚もも赤身肉…… 60g キャベツ…………… 2枚
 こしょう…………… 少々 ビーマン(飾り用)… 少々
 サラダ油…………… 小さじ1/2 しめじ…………… 1/4パック
 みそ…………… 大さじ1/2 プチトマト………… 適宜
 ピザ用チーズ…… 20g

233キロカロリー
 塩分1.8g
 ビタミンB1 0.67mg
 ビタミンB2 0.38mg



- ①豚肉はたたいて、こしょう少々をふる。キャベツは3cm角、しめじは石づきをとってほぐす、ビーマンは薄く輪切りにする。
 - ②フライパンにサラダ油を中火で熱し、豚肉を並べて焼く。焼き色がついたら裏返し、空いているところにキャベツ、しめじを入れ、3分程焼く。
 - ③豚肉にみそを薄く塗って、チーズ、ビーマンをのせ、弱火にしてふたをし、約2分チーズがとろけるまで焼く。
 - ④器に盛り、プチトマトを添える。
- フライパン1つで出来るお手軽メニューです。●チーズが苦手な方は、梅マヨネーズにしてもおいしいです。●肉もも肉が硬い方は薄切り肉にするとやわらかくなります。

プラス1品

きゅうりとセロリの中華サラダ

<一人分>

きゅうり…………… 1/2本 砂糖…………… 小さじ1/4
 セロリ…………… 1/4本 しょうゆ…………… 大さじ1/2
 塩…………… 少々 酢…………… 大さじ1/2
 しょうが…………… 薄切り1枚分 ごま油…………… 小さじ1/2
 たかの爪…………… 1/2本

38キロカロリー
 塩分1.4g



- ①きゅうりはめん棒などでたたいてひびを入れ、長さ4cm位に切って、手でほぐすように割る。セロリは茎は幅5mm位の斜め切り、葉は摘んでおく。しょうがはせん切りにする。たかの爪はへたと種を取り、小口切りにする。
- ②きゅうり、セロリに塩を振り、なじませておく。
- ③調味料を合わせ、しょうが、たかの爪を加えて混ぜる。
- ④②に③、セロリの葉を加えて混ぜ合わせる。

外来・入院・健診アンケート調査にて寄せられたみなさまからのご意見に対するご回答について



2008年2月に、外来・入院・健診の3部門において、利用されたみなさまにアンケート調査を実施させていただき、総数738名のみなさまにご協力いただきました。ありがとうございました。

この場をお借りして、みなさまより寄せられたご意見の一部でございますがご紹介し回答させていただきます。また、院内には「ふれあいの箱(ご意見箱)」を設置してありますので、引き続きお気づきの点がございましたらぜひご意見をお寄せください。

院長 谷口友志

■外来

- ① 病気のことで聞くと説明してもらえが素人なのでどう聞いてよいかわからないときがある。いろいろ先生から話してもらえるとありがたいです。
インフォームドコンセントの徹底に努めます。少しでも理解しづらいことがあれば何度でも遠慮なくご質問いただければと思います。
- ② 整形外科は午後も診察してほしい。
現在整形外科医は2名体制で、外来・入院・手術を担当しており、午後の外来まで手がまわらないのが現状です。医師の増員に引き続き努力してまいりますのでご容赦いただければと存じます。
- ③ 予約があっても整形では1時間待ちが当たり前になっており、もう少し考えてほしい。ボードを使って分けて分かりやすいが、待ち時間が少なくなればもっとよい。
診察内容によって待ち時間が長くなる場合がございます。ボードに順番を表示しておりますが待ち時間の短縮には至っておりません。少しでも待ち時間を短縮できるよう検討を続けます。
- ④ 特定の医師の診察開始時間が毎回遅い。他の先生は予定通り、時には時間前に始まることもあるのに。要するに、毎回遅刻しているということ。
申し訳ございません。各医師にご意見をお伝えし、反省の材料とさせていただきます。
- ⑤ リハビリの中堅スタッフを入院患者のほうに回しすぎでは。外来にも中堅プロを少しおいてはいかが。
リハビリテーションセンターには、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が総勢33名おり、それぞれの専門性を生かしてリハビリテーションに当たっております。入院・外来の担当は、患者数や必要度、職員の経験等を考慮して配置しています。経験の浅い職員もおりますが、症例検討会や指導を通して技量向上に頑張っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
- ⑥ 診断書作成があまりに遅い。2か月かかると患者は困る。
ご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございませんでした。専任職員を配置して依頼を受けた診断書類の作成・発行の管理を行っており、現状では2週間以内に発行できるようになっております。
- ⑦ 朝の受付機械をもう少し早く電源を入れてもよいのでは。
初診の方や保険証の確認が必要な方などは自動受付機が利用できないため、受付事務員が勤務している8時30分からの受付開始とさせていただいております。ご了承ください。

■入院

- ① 夜間、入院患者を診るスタッフ、看護師の数が少ないため、看護師の負担が大きいと思います。また、患者に対しても十分なケアが行き届かないと思う。
当院の各病棟の夜間の看護体制は、通常は、2名の看護要員の配置となっています。手術後など重篤な患者様が入院されている場合は、必要な人員を増員して看護に当たっています。今後とも看護師の確保に努めるとともに、患者様に不安を与えることのないよう努力してまいります。

- ② 手術が遅れた場合には次の患者への対応に一考願います。冬期で上半身脱衣し紙の衣だけで約3時間近くその状態でいたので風邪をひいてしまい不安でなりません。スタッフの方々が一糸乱れぬチームワークで手術を成功させてくださいましたがこのことが残念に思います。

手術が数件予定されている場合、患者様の手術室への入退室がスムーズにできるように予定時間に合わせて準備を進めますが、前の手術が予定終了時間よりも遅れたことで、お待たせしてしまいご迷惑をおかけしました。患者様への配慮が行き届かず申し訳ございません。今後は、手術室との連携を十分にとり、患者様をお待たせすることのないよう心がけます。

- ③ おむつ交換の際、その時点で排尿していない場合でも次の交換までそのままにせず再度確認していただければありがたいです。

尿の多い方はオムツの種類を検討したり、車椅子移乗時に確認したりしています。特に夜間排尿がなかった場合は次の勤務のスタッフに申し送っています。私達も工夫をしていますがお気づきの点はお指摘ください。

- ④ 新聞等で長期療養型ベッド数が減少すると報道されており心配しています。継続に向けて頑張ってください。

療養病床の再編成により、2012年3月に介護療養病床が廃止され、医療療養病床の削減が進められています。療養病床のニーズが更に高まることが予測される中で、状況に反する国の施策の遂行であり、理解し難いものがあります。当院では、現状、療養病床の転換方針を定めきれておらず、今後の動向、地域の医療・介護ニーズ等を見極め、貴重な社会資本として有効に活用できるよう、みなさまのご意見を伺いながら対応してまいりたいと考えております。

■ 健診

- ① 乳がん・腸・骨の検査が共に付いていたら時間・日程を有効に使えたと思う。検査項目が少ないと健診とは言えないと思う。

健診・ドックは各コースによって検査項目が異なりますので、コースによってはご希望の検査が含まれていないことがあります。その場合、オプションの検査をご利用いただければ様々な検査を受けることができます。説明不足にてご迷惑をおかけいたしました。

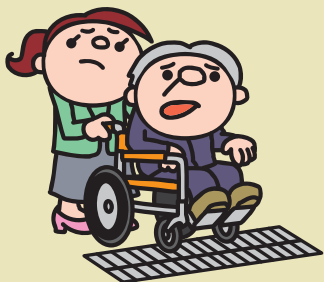
- ② 診察の際、前回のデータとの比較や、日常の食事等の指導など、詳しい説明がほしい。血液・尿検査の結果説明は特に詳細にしてほしい。

ご意見は健診スタッフ会議に提議し、また医局会において医師に周知いたしました。今後は詳細な説明を心がけます。説明が足りず分かりにくい場合はご遠慮なくおっしゃってください。

患者さまからの Voice

Q 通用口横の身障者駐車場付近の溝フタの目が粗い。車椅子のキャスターが挟まるので改善してほしい。

A ご指摘を受けるまで気にかけることができず、ご不便な思いをされ、大変申し訳ございませんでした。先日、目の細かい溝フタに変更いたしました。今後も皆様のご意見を参考にして、少しでもご不便を解消できるように努めますので、よろしくお願い申し上げます。



Q 発作が起こり救急車を呼んではまゆう病院で診てもらおうとしたが、当直が内科医師でないということでA病院に搬送された。A病院では一通りの検査と点滴を受けて帰ってきた。かかりつけの患者であれば、主治医がいなくても診てほしい。こういう時のために、はまゆう病院にかかっているのに。

A 消防救急隊からの救急搬送依頼の内容が、心臓発作等(急性心筋梗塞などの症状)重篤で一刻を争う症状が想定される場合は、より専門的で高度な救急救命措置に対応ができる医療機関への搬送をお願いする事があります。今回のケースは、当直医が外科医師であり、救急隊の連絡から一刻を争う症状と判断し、循環器疾患の専門的施設であるA病院を紹介させていただきました。一般的な急患の場合は、できる限りの対応をさせていただきますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880** (受付) **43-6200** (代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1（初診）	午前	山崎	立田	伊藤 揚	松本	田中	高村
		午後	伊藤 浩	木下	松本	木下	立田	
	内科2（再診）	午前	木下	伊藤 浩	松尾	松尾	山崎	
		午後	松本	伊藤 浩	松尾	松本	山崎	
	内科3（再診）	午前		齊藤				
		午後	田中		立田		木下	
	内科4（再診）	午前	佃	伊藤 揚	中川	佃	伊藤 浩	
		午後			佃		伊藤 浩	
	内科5（再診）	午前			谷口	伊藤 揚	谷口	
		午後			谷口			
外科 胃腸科		午前	当番医	岡山	崔	岡山	崔	当番医
整 形 外 科	整形1（初診）	午前	政田	リウマチ外来／金	政田	金	政田	当番医
		午後	ギプス装具外来					
	整形2（再診）	午前	金					
		午後						
小児科		午前	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保
		午後	古久保	古久保		古久保	古久保	
産婦人科		午前	國部	國部	國部	國部		
		午後		國部	國部	國部	國部	
皮膚科		午前						県立医大 京都大学
		午後		県立医大 京都大学				
眼科		午後		井上				
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来		午前		伊藤 浩			伊藤 浩	
		午後	伊藤 浩	伊藤 浩			伊藤 浩	
呼吸器外来		午前			松尾	松尾		
		午後			松尾			
アレルギー・呼吸器専門外来		午前			中川			
腎臓内科		午前		齊藤				
泌尿器科外来		午前	柏木	柏木	柏木	柏木	柏木	当番医
神経内科・ リハビリテーション専門外来		午前	小口	廣西	小口		石口	
		午後	廣西			小口／中西		
脳神経外科		午前				中北		
緩和ケア外来（予約制）		午後			伊藤 浩			
心療内科 漢方外来		午後	田中		立田			
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚		伊藤 揚		
糖尿病専門外来		午後		井神				
消化器専門外来		午前	山崎		谷口		山崎／谷口	
		午後			谷口	木下	山崎	
腫瘍内科		午前	佃			佃		
		午後			佃			
循環器・高血圧専門外来		午前						有田（月2回）
関節専門外来		午前						金

	受付時間	診療時間
午前 (月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00
午後 (月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00
眼科 (火)	12:00～14:30	12:30～15:30
皮膚科 (火)	13:00～15:45	13:30～16:00
糖尿病外来 (火)	14:00～16:00	14:00～17:00
耳鼻咽喉科 (木)	14:00～16:30	14:00～16:00
循環器・高血圧専門外来 (土)	8:30～11:00	9:00～12:00
神経内科・リハビリテーション 専門外来 (中西)	13:00～16:00	13:00～16:00

●休診 土曜日午後・日・祝
※診療時間外 (夜間・休日) に
具合が悪くなったときは、
日時に関係なく受付しま
すので、白浜はまゆう病院
へ電話で連絡ください。



(財) 白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 立谷誠一 ●院長 谷口友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739 (43) 6200 FAX.0739 (43) 7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地
■白浜はまゆう病院在宅介護支援センター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739 (45) 3600	FAX.0739 (45) 3678
TEL.0739 (48) 0031	FAX.0739 (48) 1005
TEL.0739 (52) 2002	FAX.0739 (52) 4192
TEL.0739 (53) 0001	FAX.0739 (53) 0001
TEL.0739 (54) 0037	FAX.0739 (54) 0037
TEL.0739 (43) 5226	FAX.0739 (43) 0682
TEL.0739 (43) 7870	